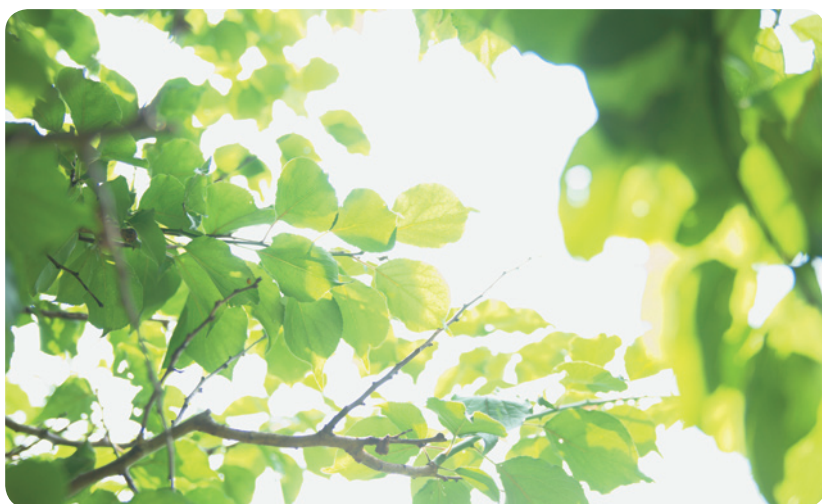
木を切ることは
自然破壊じゃないんです。

2010 CSR REPORT

企業としての役割、私たちにできること

その本当の理由がよくわかる

特集：森のめぐみと紙のお話

三菱製紙販売株式会社

CSR REPORT 2010

T　　　　ΛMITMENT

ｓのか？」というテーマがあります。
ｔ株主のもの」、日本では「会社は社員のもの」という意識が強い
社員の他にも、会社は顧客、取引先、銀行などに支えられてい
ｔ社は国や地方自治体、地域社会などのお世話になっています。
会社を支える多数の利害関係者（ステークホルダー）のもの」、
の（社会的存在）」ということになります。

ニ、CSR（企業の社会的責任）を果たすのは当然
は、正当な企業活動により利益を計上し税金を
地方自治体の行政により社会に還元されます。

すが、どんなことをしてでも儲ければ良い、という
イアンス（法令遵守）は企業活動の必要最低条件
常識」であってはなりません。
プロフェッショナル）」になる前に、「立派な社会人
がけます。

紙パルプ産業は地球環境に優しい産業である

文　　　化

り創業以来、紙類の専門商社として、生活に深く
お客様に提供することを通じて、地域社会や産業、
ました。

ることから、自然・環境破壊の元凶と目され、非難
最近では、かなり認識が変わってきています。
ガスを吸収し固定化します。成長後も放っておく
作用による炭酸ガスの放出量の方が多くなってし
した段階で計画的に伐採し植林することにより持
なり、炭酸ガスの吸収量も増えることになります。

TM

売を推進することにより、地球環境の改善に貢献
)健全な成長を図るための間伐材を使用した紙の
さらに、古紙のリサイクルによる再生紙の販売を
形成にも貢献しています。
じて、「紙パルプ産業は環境に配慮した、地球に
を訴えてまいります。

企業活動を通じて社会に貢献する

当社は、現在中期経営計画「エボリューション10」に取り組んでおり、計画の基本方針の1つに「CSR」を据え、「法令遵守」、「社会貢献」、「環境商品の拡販」を柱として、コンプライアンス意識の徹底、CSRの自覚と実践、環境団体・活動への積極的な参加、人権啓発活動を通じた個の尊重、官公庁・企業・市民団体への自然保護と森林保全へのPR活動促進、再生商品の拡充、FSCの理解とユーザーへの浸透等を目標に掲げ、社員全員参加の下に全力で取り組んでいます。

なお、既に従来から取り組んでおります地球環境の改善につながる諸施策としての省資源・省エネルギーの推進、廃棄物削減、グリーン購入促進等につきましても引き続き積極的に取り組み、持続可能な循環型社会の形成に努めるとともに、企業活動のさまざまな場面で環境負荷の低減に向けた努力を続けてまいります。また、地域社会との共生を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進し、社会とのより良い関係を構築していくため、さらなる努力を重ねてまいります。

今後とも、株主、お取引先や地域社会をはじめとする多くのステークホルダーの皆様に対し情報を開示し、当社の事業活動や環境改善活動に対するご理解をいただくとともに、より一層皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

三菱製紙販売株式会社
取締役社長　平松由紀夫

contents

01 CSR REPORT CSR推進方針・体制

CSR推進方針

変化のスピードが著しい現代社会において、企業として事業活動を通じ地球環境との調和を図りながら社会に貢献し、社会と共生していくため利益の追求のみならず、さまざまなステークホルダーの皆様にその成果と課題を開示し説明責任を果たして行きます。
また双方向の対話を通じて持続可能な社会の構築に向けて企業としてどのような役割を担っていくのかを真摯に考え、全員参加の企業経営を機軸に取り組んでいくことにより信頼関係を構築していくことが、私たちの大切な社会的責務であると考えています。

当社はCSRを経営方針の重要な柱の1つに据え、法令や社会規範を遵守し、環境や社会との関わりを含めて社会から信頼される企業をめざして、2003年10月に「三菱製紙販売企業行動憲章」を制定してCSRの取り組みに関する基本としています。更にその社会的な使命に対する取り組み姿勢を明確にするため、新たに2007年7月にCSR委員会を発足させ、同年10月には「三菱製紙販売コンプライアンス行動基準」を制定し、コンプライアンス、環境、社会貢献等の各分野において様々な活動に積極的に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制や内部統制体制などの経営基盤を強化し、法令遵守のための取り組みを確実に実施するとともに、自主的な取り組みにより創造性を発揮し新たなビジネスチャンスと価値の創出を実現します。またステークホルダーの皆様の要望や期待を通じて企業活動に関する課題を認識し、その解決に努めてまいります。このような活動を発展させ拡大していくことが、当社と社会の持続的な発展に繋がっていくものと考えています。

今後とも社会性、透明性の高いバランスのとれた企業活動を通して倫理観のある企業風土作りをすすめ、社内の隅々まで遵法精神を浸透させることにより、皆様から信頼される企業をめざして更なるCSRの推進に取り組んでまいります。三菱製紙販売のこれからにご注目ください。

CSR推進体制

私たちは、CSRの取り組みを円滑に行うために、次のような推進体制を構築しています。
社長を委員長とするCSR委員会を頂点とし、傘下にコンプライアンス委員会、環境委員会、社会貢献活動委員会を設置しており、担当部署としてCSR推進室がその任にあたっています。

CSR委員会

CSRに関する事項全般に関する審議・決定を行い、重要な案件については更に役員会で審議されます。

CSR推進室

CSRに関する運営方針や活動計画の策定、問題点や検討項目の抽出を行います。

コンプライアンス委員会

会社及び従業員が、コンプライアンスに関する社内基準を遵守しているか監督・支援する組織として設置しています。

環境委員会

環境方針に基づき、環境マネジメントシステムISO14001への取り組みを通じて環境負荷低減を図り、地球温暖化防止へ寄与するべく活動しています。

社会貢献活動委員会

社会貢献活動の具体案の検討、実施を通じて地域社会に貢献するべく取り組んでいます。

三菱製紙販売のCSR

- 法令遵守の徹底
- 情報の公開と信頼性確保
- 環境保全活動の推進
- 個の尊重・ハラスメントの禁止
- 国際社会との協調
- 地域社会とのコミュニケーション

STOCKHOLDER

株　主

適正な企業活動を通じて利益を確保し、株主の皆様への還元をめざします。ホームページ等を通じて、経営計画や財務内容などの経営情報を的確に開示するとともに、経営の長期安定化を図り企業価値の向上に努めます。

CUSTOMER

取引先

良識と誠実さをもってお客様と接し、対等な立場で充分に話し合います。FSC森林認証紙など、環境配慮商品の情報を積極的にお客様に提案するとともに、品質、価格、納期、安定供給等諸条件を公正な基準と適正な手続きで行ないます。

SOCIETY

社　会

企業活動においては法令を遵守し、公正、透明、自由な競争を行います。良き地域住民となるよう地域社会の一員として調和に努めるとともに、多様なNPO活動に積極的に参加し、社会の安定と発展に貢献します。

EMPLOYEE

従業員

性別、信条、身体的条件、社会的身分による差別やハラスメントを行いません。また他人がそのような行為をすることを許しません。従業員の生み出す創造性を尊重し、一人ひとりの能力を充分に発揮できる働きやすい職場環境の整備に努めます。

ENVIRONMENT

環　境

環境マネジメントに関する国際規格の趣旨を踏まえ、「環境コーディネート型企業」をめざすとともに、「循環」「共生」「参加」を基調とした継続可能な社会の実現をめざします。また森林認証の取得など、森林資源の適正管理を通じて地球温暖化防止に貢献します。

02 CSR REPORT 環境マネジメント

Environmental Management

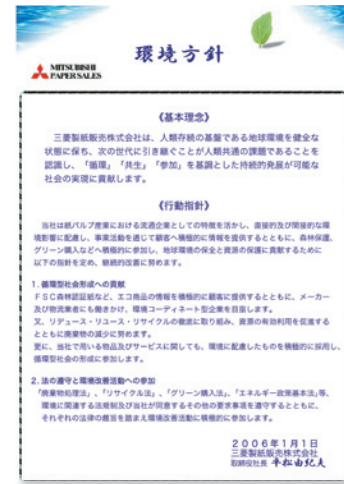
環境方針

環境方針

《基本理念》

《行動指針》

2006年1月1日

当社は次世代に豊かな自然環境と社会を残していくために、環境保全活動を重要な課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動を推進しています。2001年に環境方針を制定して以来、「ISO14001」の取得と運用を通じて環境改善に取り組むとともに、2003年に世界的な環境問題の改善に取り組んでいるWWFジャパン及び適切な森林保全活動を目的としたWWF山笑会に加盟しました。また、紙パルプの流通企業として、「FSC森林認証紙」の普及を中心に、再生可能な資源の有効活用についても企画・提案に努めてまいりました。
今後も、環境コーディネート型企業としてさまざまな視点から環境保全に取り組んでまいります。

紙・パルプ類の調達について

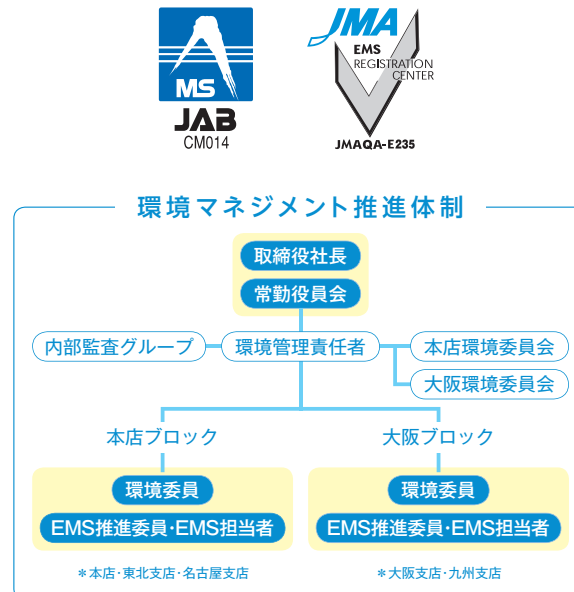
当社は森林資源の保全の為、購入する紙・パルプ類に右記の木材に由来する原材料が含まれないように、最大限の努力をいたします。

1. 違法に伐採された木材
2. 伝統的権利又は市民権を侵害して伐採された木材
3. 管理活動により高い保護価値が脅威にさらされている森林から伐採された木材
4. 植林地又は森林以外の用途に転換されつつある森林から伐採された木材
5. 遺伝子組み換え樹木が植林されている森林からの木材

環境マネジメントシステム

当社は、2001年10月、東京本店において「ISO14001」認証を取得し、2002年10月には大阪、名古屋、東北、九州の各支店において「ISO14001」の認証範囲を拡大しました。
審査登録機関による審査を年に1回（更新審査は3年に1回）受けるとともに、各事業所とも内部監査を毎年実施し、環境マネジメントシステムの運用状況のチェックを行い、毎年12月にマネジメントレビューを実施しています。
認証取得当初は「紙・ゴミ・電気」の削減を各部署の統一テーマとして取り組み、一定の成果を上げることができました。その後は各部署が本来業務に即したテーマを選択し、取り組んでおります。
特に営業部署では環境方針で謳っております「森林保護」の実現に向け、「FSC森林認証紙」の普及を必須のテーマとして取り組んでおります。

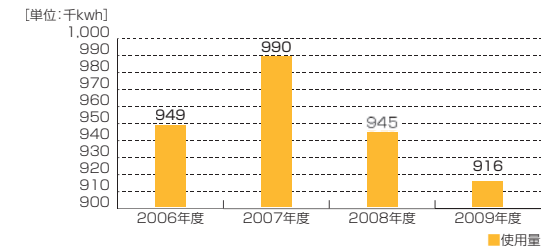
環境マネジメント推進体制

- 取締役社長
- 常勤役員会
- 環境管理責任者
  - 内部監査グループ
  - 本店環境委員会
  - 大阪環境委員会
- 本店ブロック
  - 環境委員
  - EMS推進委員・EMS担当者
  - ＊本店・東北支店・名古屋支店
- 大阪ブロック
  - 環境委員
  - EMS推進委員・EMS担当者
  - ＊大阪支店・九州支店

03 CSR REPORT 環境改善活動

Environmental Improvement Activity

当社は、オフィス内で発生する古紙やゴミなどのリサイクル推進、PPC用紙使用量、電力使用量、水の使用量の削減、事務用品のグリーン商品購入比率の向上に努めています。

1 電力使用量

業務効率化による残業時間の減少や、高効率のOA機器の選択に努めました。その結果、前年度を下回ることができました。

2 グリーン商品購入の推進

オフィス内で使用している事務用品及びOA機器について、環境配慮商品を積極的に選択しました。
その結果、グリーン商品購入比率は前年度を上回ることができました。

3 水の使用量

2008年に節水機器を洗面所・トイレ等に設置以降、設置前と比較し下回ることができました。

4 PPC用紙使用量

両面印刷の推進や出力方法の見直しに努めました。
その結果、全体及び１人あたりの使用量は前年度を下回ることができました。

5 廃棄物のリサイクル推進

オフィス内で発生する古紙やゴミなどの廃棄物を細かく分別することに努めました。
その結果、廃棄物の全体量は前年度を下回り、リサイクル率は前年度を上回りました。

森のめぐみと紙のお話

健全な森林を世界に広める紙 FSC認証製品

適切な森林管理がなされているかを、国際的な第三者機関により評価・認証し、木材・木材製品にFSCラベルを付けることで、その製品が認証を受けた森林から得られたものであることを保証しています。FSC認証製品を幅広く流通させることが、健全な森林を世界に広める活動に繋がります。

当社は、2002年5月23日付で米国SCS社より国内の紙代理店として初めてCOC認証を取得し、2003年9月には各出張所を含む全店でCOC認証を取得しました。

【認証番号:SCS-COC-000424】

流通、印刷等の加工等における管理される仕組み

COCは、「Chain of Custody」の略で管理をつなぐという意味を表しています。最終製品に記載されたCOC認証番号によって、その製品に使われた木材の育った森林まで遡る（トレーサビリティー）ことができます。

●三菱製紙販売で販売しているFSC認証製品
●パールコートN FSC-MX　●ニューVマット FSC-MX　●金菱FSC-MX
●ホワイトパールコートN　FSC-MX　●ホワイトニューVマットFSC認証-MX
●三菱PPC用紙RE FSC認証-MX　●三菱ジェットレーザーFSC認証-MX
●森の町内会コピー用紙FSC認証-MX←「グリーン購入法」適合商品　●その他

間伐を促進 コピー用紙で森づくり 森の町内会

間伐された木はこんな風に使われるんだ！

豊かな森の環境を維持するため間伐の有効性が確認されておりますが、国産木材の利用低迷と林業の不振により間伐が行き届かないという問題があります。「森の町内会コピー用紙」には、その間伐を促進するための支援費用15円/kgを付加することで購入されるお客様が支援する仕組みです。私たちはこの環境商品を提案し環境保全活動を推進いたします。

●「森の町内会」を通じた間伐促進

<未間伐林>
未間伐林は光が地面に届かず森自体がやせてしまう

企業が環境貢献として
森の町内会コピー用紙を使用

<間伐中>
間伐促進費により間伐を実施

<間伐後>
間伐より地面に光が届きより、下草も生長し森自体が豊かになる。その結果、保水力が高まることで土砂災害に強くなり、また生物多様性の保全にも機能を発揮する

環境NPOオフィス町内会が間伐促進費を管理し、全額が間伐に充てられる

※「森の町内会コピー用紙」は、「森の町内会」指定の間伐材と同重量の紙を「間伐に寄与した紙」とするクレジット方式により生産しています。

森の町内会とは？

環境NPOオフィス町内会を中心に活動し、企業が「間伐に寄与する紙」を購入することにより間伐費用の一部を補完し、健全な森づくりを推進する運動です。2009年現在、この活動に賛同する企業は111社にのぼり、間伐実施面積として27haを間伐しております。

KDDI株式会社様は、携帯電話に添付されている印刷物を同社内で再利用（循環再生紙）するシステムを全国に導入しております。このシステムの運用にあたり、当社はその仕組みを提案させていただき、同社のこのシステムの運用をサポートしております。

●三菱製紙販売で販売している再生紙

三菱製紙:●Rパールコート N　●Rニュー Vマット　●金菱R
北越紀州製紙:●ミューコートネオスエコリング　●アルファマットエコリング　大王製紙:●ユトリロコートグリーン70　●ユトリロマットグリーン70　●その他

継いでいけるよう、「紙」を通して本来の活力ある「森林」のサイクルを生み出す新しい森づくりに取り組んでいます。目指すは参加型のプロジェクト。みんなで手と手を携えれば、日本の森がもっともっと元気になっていきます。

名刺1枚が「緑の募金」1円に
▼詳しい情報はこちら▼
http://www.ghp-project.com

元気な森林へ保全＆地球温暖化防止！

「緑の募金」を通じて、間伐などの整備活動をはじめとした国内外の森林保全活動を強力に推進します。

森のめぐみの体験学習
エコシステムアカデミー
in 白河甲子の森（西郷村）

三菱製紙株式会社が主催する、エコシステムアカデミーは”森をめぐる循環”をテーマに、森の観察からスタートし、木を使ったものづくりにまつわる体験型の環境教育を行うものです。炭素の循環を通した「森が地球温暖化防止に果たす役割」、生き物の循環を通した「森と生物多様性の保全」について学習します。木という「森のめぐみ」によって生かされている産業の一員として、これまで育んできた知識や経験を、小学生から大人の方まで様々な人々に伝えることを通して、地球環境の保全に貢献できることを願っております。

体験学習プログラム

●森林を適切に管理することとは？
→森林管理体験（間伐・植林・散策）

●木や木材の種類や用途を知ろう
→林産加工体験（製材・木工・炭焼き）

●紙はどうやって作るの？
→紙製造体験（パルプ化・抄紙・印刷）

●リサイクルすると紙はどうなるの？
→施設見学（チップ化・古紙回収・製紙）

三菱製紙販売 エコシステムアカデミー活動計画

2010年
- 6月　白河実習研修（社有林、炭焼き小屋、古紙会社見学等）
- 7月　社内講習（白河山荘内展示パネルの説明等）／社内講習（救命救急訓練）
- 8月　実践テスト講習（社内親子モニターを案内）
- 9月　インストラクター養成研修（次世代インストラクターに講義をする）／環境セミナー受講（森と水と私達の関係）第1回目
- 10月　白河山荘どんぐり拾い／環境セミナー受講（森と水と私達の関係）第2回目
- 12月　エコプロダクツ2010（ビッグサイト添乗員）

2011年
- 6月　エコシステムアカデミー始動

炭焼き小屋見学
古紙会社見学
木の測量
間伐作業

2010年度、三菱製紙販売では3名の社員がエコシステムアカデミーで研修を受けました。

04 CSR REPORT
従業員とともに
With the Employee

人間の尊重

当社の行動憲章に人間の尊重を掲げ、人権啓発推進委員会を設置し、全ての従業員が人権尊重を理解し行動することによって、働きやすい元気の出る職場環境を実現できるように、人権啓発研修を実施しています。研修担当者は人権団体などの研修会や講座への参加などで得た知識や、人を大切にする思いを従業員に伝えています。

人権啓発研修

4月	6月	11月	2月
新入社員研修	全従業員階層別研修	人権標語募集	全従業員階層別研修

育児・介護休業制度

次世代育成支援を目的として、「育児・介護休業法」施行に伴い、育児や介護を必要とする家族を持つ従業員のために休業制度を導入し、さらに、2010年6月の同法の改正に則して、育児・介護休業制度の範囲を拡大しました。また、短時間勤務の制度や看護休暇制度を併設し、従業員が仕事と家庭を両立できるように支援しています。

育児・介護休業制度利用者実績

2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
2名	2名	0名	2名	3名

再雇用制度

高齢化の進行が予想以上に進む社会情勢の中での雇用確保、さらに団塊の世代の定年による当社業務承継の問題を緩和するために「改正高齢者雇用安定法」の施行に伴い、再雇用制度を導入しています。
この制度により定年をむかえた従業員の退職後の雇用を確保しています。

再雇用制度利用者実績

2007年度	2008年度	2009年度
5名	6名	2名

メンタルヘルス

従業員とその家族の身体的、精神的な健康維持を図るため、外部相談窓口として専門カウンセラーによるEAP(Employee Assistance Program)相談室を設置して、いつでも利用できるようにしています。
また、従業員を対象としてメンタルヘルスの研修会も実施しています。

ワーキンググループ活動

企業として常に成長するために、新規プロジェクトの遂行を目的として各組織から横断的に人選し、ワーキンググループを立ち上げて活動しています。
新しい三菱製紙販売へと進化するための原動力となっています。

05 CSR REPORT
地域社会とともに
With the Regional society

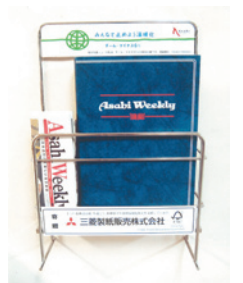
❶ペットボトルのキャップ回収

エコキャップ推進協会を通じて発展途上国の子供たちにワクチンを贈るため、社内に回収BOXを設置してペットボトルのキャップの回収をしております。本年度より当社大阪支店でも同様の回収を始めました。
本年度も東京本店分として32,600個のキャップを回収し、ポリオワクチンとして約40人分を寄付したことになりました。

❷美しい森林づくり推進国民運動「フォレストサポーターズ」に賛同

(社)国土緑化推進機構が推進している「美しい森林づくり推進国民運動」の一環として、林業に携わっている人や山村に生活する人と都市部に生活する人や企業・団体が共通のプラットフォームのもとに集い、お互い手を携えることができるようにと始まった「フォレストサポーターズ」に賛同して、募金を通じた森林保全活動等に協力しております。

❸「私たちの地球を守ろう」キャンペーンに参加(大阪支店)

3年前から株式会社朝日新聞ニュース社が主催する「私たちの地球を守ろう」キャンペーンに参加、チームマイナス6%・FSCトレードマークの入った専用ラックと英和新聞を地元の高校内に設置し、地域社会への貢献と地球環境への取り組みをPRしています。

❹エコプロダクツ2009

日本最大の環境展示会「エコプロダクツ」に三菱製紙グループとして、当社は2003年より出展し、環境に対する活動事例を展示案内しております。2009年度につきましても12月開催のエコプロダクツに出展しました。

❺森林保全活動への支援　「中央区の森」

東京都中央区が運営する「中央区の森」(東京都西多摩郡檜原村)の趣旨に賛同し、中央区所在の企業として「中央区の森」活動を支援するため寄付を行っております。

❻「中央通りはな街道」沿道美化運動に参加

街並の景観の維持・保全と美化運動を図るNPO法人「はな街道」の運動に賛同し、銀座中央通りの花壇に四季折々の花を植えるための「フラワー基金」に協力するとともに、沿道の清掃活動も行っています。

❼「まちかどクリーンデー」で清掃活動に参加

東京都中央区の主催の「まちかどクリーンデー」に賛同し、毎月一回従業員が当社本店周辺地域の清掃活動を行っております。

❽赤十字寄付活動に対して表彰授与(大阪支店)

大阪支店は日本赤十字社大阪支部に毎年寄付を行っています。その額は小さいけれど、地道な社会貢献を継続して行っていることが評価されました。やっぱり大阪、「小さなことからコツコツと！」ですね。

2009年度のCSR年間活動

CSR activity 2009

・コンプライアンス新入社員教育

・三菱製紙グループ
コンプライアンス・アンケート実施

・人権啓発研修(東京本店)
・FSC森林認証年次監査

・ISO14001内部監査実施(7月～8月)
・コンプライアンス行動基準の見直し

9月 ・第4回コンプライアンス委員会　開催

エコプロダクツ2009

エコシステムアカデミー研修風景①

エコシステムアカデミー入口の看板

エコシステムアカデミー研修風景②

・総合防災訓練(自衛消防訓練)
・ISO14001外部審査
・三菱製紙グループ
コンプライアンス研修(10月～12月)

・人権標語募集

・エコプロダクツ2009に
三菱製紙グループとして出展

・コンプライアンス研修

・人権啓発研修(大阪支店)
・入社1・2年次コンプライアンス教育

2010年度の取り組み

Approach 2010

本年度、新たに取り組んでいることについてご紹介いたします。

❶CO_2削減／ライトダウンキャンペーン2010に参加

政府の国民運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加しています。その運動の一環としてライトアップ施設や家庭の電気を消して温暖化防止を図る「CO_2削減ライトダウンキャンペーン」が実施され、7月7日[七夕・(クールアースデー)]に事務所内の明かりを消してライトダウンをおこないました。

❷三菱製紙「エコシステムアカデミー」に参加

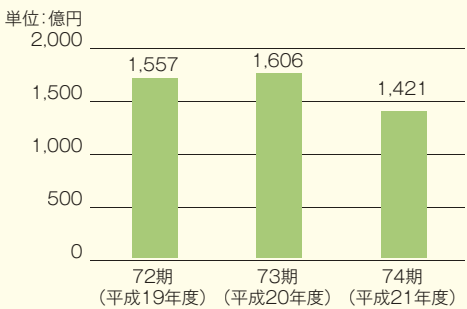
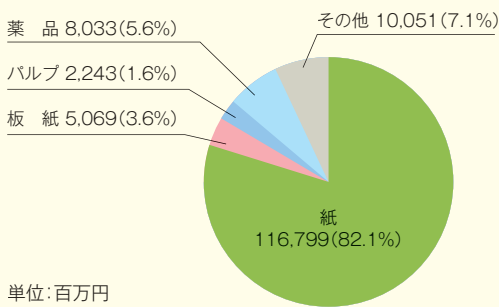
三菱製紙では社有林の利用を中心とした体験型環境教育施設「エコシステムアカデミー」を来年より福島県西白河郡西郷村でスタートいたします。当社からも「エコシステムアカデミー」に参加される皆様のお手伝いをする「インストラクター」や「サポーター」を派遣する予定です。

❸メッセナゴヤ2010(環境展)に出展

メッセナゴヤでは、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)連携事業として2010年10月27日より4日間にわたり「環境・エネルギー」をテーマに開催します。「環境コーディネイト型企業」を目指す当社といたしましても、三菱製紙のグループ会社としてメッセナゴヤ2010に出展いたします。

会　社　概　要

本店所在地	東京都中央区京橋2丁目6番4号
創　　業	1912年(明治45年)2月
設　　立	1956年(昭和31年)8月
資 本 金	6億円
事業内容	紙類・パルプ及び紙加工品の販売、製紙用工業薬品の製造並びに販売
代 表 者	取締役社長　平松 由紀夫
売 上 高	142,197百万円(2010年3月期)
経常利益	598百万円(2010年3月期)
従業員数	326名(2010年3月期)

■売上高推移

■品目別売上実績(74期)

東京都中央区京橋2丁目6番4号
TEL：03-3566-2300　FAX:03-3566-2339
問い合わせ先　CSR推進室
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp

性有機溶剤を含まないアロマフリーで植物油100%の「植物性インキ」を使用し、印刷はアルカリ性現像廃液を出さず、イソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な「水なし印刷方式」を採用しています。